



学校法人 梅村学園 中京大学古文書室

学校法人梅村学園 中京大学古文書室は、本学文学部歴史文化学科の新設時と同じ2015年度に開室されました。当室は、中京大学文学部が所蔵する古文書・絵図等を収蔵・保存しながら、それらについて歴史文化学科を主とする本学学生が学芸員課程等の授業で活用するために設置された施設であり、展示室や講義室、収蔵庫等からなります。博物館資料としては、本学のある愛知県内の尾張・三河地域を中心に歴史資料を多数所蔵しています。なかには、織田信長の商人司の古文書として著名な「伊藤宗十郎家文書」や、京都の公家烏丸家伝来の「日野烏丸家文書」といった貴重な江戸時代以前の古文書の原本も含まれています。

当室の展示室は、通常の博物館のそれとは異なり、展示実習室としての位置づけのため、常設展示等はありませんが、オープンキャンパスといった大学主催の行事等には収蔵資料を用いたコレクション展等を行い、特に大学祭の開催時等では学生プロデュースの企画展も実施しています。

目 次

- 愛知県博物館協会平成 29 年度総会のご報告 2
- 平成 29 年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告 8
- 表紙館のご紹介 9

愛知県博物館協会平成 29 年度総会のご報告

愛知県博物館協会の平成 29 年度総会が 6 月 8 日、名古屋市博物館において、参加館 59 館 88 名が出席するなかで開催された。当日の総会概要は以下のとおりである。

《総会》

1. 開会
2. 会長あいさつ



伊藤彰氏（名古屋市博物館）



総会会場風景

3. 協会表彰

高橋秀治氏（功労賞）	前・愛知県美術館副館長
尾坂知江子氏（功労賞）	名古屋市科学館学芸員
賛元洋氏（功労賞）	豊橋市文化財センター所長



高橋秀治氏



賛元洋氏

4. 議事

議長（会長 名古屋市博物館 館長 伊藤彰氏）

議題 1 平成 27 年度事業報告および決算報告について

1 研修会の実施

（1）愛知県博物館職員等研修会

「町並み保存とミュージアム」

日 時 平成 28 年 11 月 1 日（火） 10 時～15 時 30 分

会 場 一宮市尾西歴史民俗資料館

参加者 36 名

講 師

一宮市尾西歴史民俗資料館 宮川 充史 氏

豊田市教育委員会 足助町並み整備担当 井上 美知代 氏

豊橋市二川宿本陣資料館 和田 実 氏

(2) 部門別研修会

○「博物館における SNS の活用」

日 時 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 13 時 30 分～16 時 20 分

会 場 愛知芸術文化センター12 階 アートスペース EF 室

参加者 47 名

事例発表 小埜 光樹 氏 (国立民族学博物館管理部総務課広報係)

講 演 岡本 真 氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社)

演題「博物館における SNS の活用」

○「今、改めて考える博物館とボランティア」

日 時 平成 29 年 3 月 8 日 (水) 13 時 30 分～16 時 30 分

会 場 豊田市美術館

参加者 48 名

講 師 鈴木 眞理 氏 (青山学院大学教授)

演題「博物館とボランティアのこれまで ―議論の継承を目指して」

2 表彰 愛知県博物館協会表彰規程に基づく表彰 (表彰者 3 名)

3 印刷物の作成・配布 「おでかけガイド」 年 2 回発行 (秋・春)

4 協会報編集 協会報を WEB 公開 (PDF 版) 年 2 回発行 (No104・105)

5 ホームページの運営

6 災害発生時における支援活動要領にもとづく災害対策訓練

7 その他会議等

・理事会及び総会、記念講演会

日時 平成 28 年 6 月 16 日 (木)

会場 名古屋市博物館

記念講演会「博物館の未来 ―消えていいのか日本の動物園・水族館という問いかけから」

講師 木下直之 氏 (東京大学教授)

・実行委員会 (9 回開催)

平成 28 年 4 月 19 日 (火) 会場 名古屋市博物館

平成 28 年度事業計画と役割分担 他

平成 28 年 5 月 11 日 (水) 会場 名古屋市博物館

協会表彰、災害訓練、平成 28 年度理事会・総会の内容及び資料・役割分担 他

平成 28 年 6 月 16 日 (木) 会場 名古屋市博物館

平成 28 年度 理事会・総会

平成 28 年 8 月 3 日 (水) 会場 名古屋市博物館

平成 28 年度理事会/総会開催報告、災害対策、職員研修会 他

平成 28 年 9 月 14 日 (水) 会場 名古屋市博物館

災害対策、職員研修会 他

平成 28 年 11 月 15 日 (火) 会場 名古屋市博物館

災害対策、東海三県博物館協会研究交流会 他

平成 28 年 12 月 14 日（水） 会場 名古屋市博物館
部門別研修会、災害対策、東海三県博物館協会研究交流会報告 他
平成 29 年 1 月 18 日（水） 会場 熱田神宮宝物館
部門別研修会、協会報春号 他
平成 29 年 3 月 1 日（水） 会場 名古屋市博物館
平成 29 年度総会の日程・講演、東海三県博物館協会研究交流会のテーマ、災害対策 他

議題 2 平成 29 年度事業計画（案）および予算（案）について

平成 29 年度予算案については、新規加盟 2 館のうち 1 館分（中京大学古文書室）が昨年度すでに納入されているので、117 館として計上。

1 事業

（1）記念講演会

開催日 平成 29 年 6 月 8 日（木）
講演会 「復興キュレーション ―ポスト文化財レスキュー期における文化創造活動」
講師 加藤幸治（東北学院大学 教授）

（2）職員研修会

企画展などの見学会を実施（内容については実行委員会で企画）
時期 10 月～11 月頃
会場 未定

（3）部門別研修会

尾張地域と三河地域で実施する（内容については実行委員会で企画）
調査・研究、教育・普及、保存・修復の 3 部門の内 2 部門の研修会を実施
時期 平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月で 2 回開催
会場 未定（尾張地区・三河地区で 1 回ずつ開催予定）

（4）表彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。（該当者 3 名）
実施日 平成 29 年 6 月 8 日（木）（総会において実施）

（5）印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2 回 電子媒体発行
（担当 秋期：昭和美術館 春期：トヨタ博物館）
- ・「おでかけガイド」2 回発行
（担当 秋期：大府市歴史民俗資料館 春期：あま市七宝焼アートヴィレッジ）

（6）ホームページ運営（担当 名古屋市科学館、でんきの科学館）

- ・会の事業、ニュースの活用

（7）災害発生時の対応

「災害発生時における支援活動実施要領確定版」に基づく訓練

（8）その他

- ・平成 29 年（2017）年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会
開催時期 平成 29 年 7 月 26 日（水）
会場 静岡県立美術館（静岡県静岡市駿河区谷田 53-2）
施設見学：静岡県ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡県静岡市駿河区大谷 5762）
- ・平成 29（2017）年度東海三県博物館協会研究交流会（当番 愛知県）
開催時期 10～11 月頃
会場 未定（愛知県）

2 会 議

- (1) 総会 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 名古屋市博物館
- (2) 理事会 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 名古屋市博物館
- (3) 実行委員会 随時 年間 8～9 回程度

以上の事業計画に基づく予算案を愛知県博物館協会事務局より提示、異議なく承認された。

議題 3 災害発生時における支援活動について

平成 28 年度に実施した非常連絡訓練の結果概要を報告。連絡・回答ともに、本部（会長）館と加盟各館との間に各地域のブロック代表館を介在させ集約してもらう形で、2 回に分けておこなった。地域ブロックによっては本連絡網が機能しづらいところもある、メールの不備、電話の活用など、改善すべき問題点も浮かび上がってきた。

平成 29 年度は第 2 回非常連絡訓練を実施する予定。昨年度の訓練結果を踏まえ、早急な情報伝達を目標として連絡手段等を改善する。今後中長期的に改善するための端緒を得たいと考えている。また、今後の支援体制の整備を目指して、ブロック館などの体制を検討する。

議題 4 平成 30 年度愛知県博物館協会役員の選出について

協会規約に基づき、平成 30 年度の役員立候補を全加盟館に募ったが、立候補無し。そのため既定のローテーションの順番にしたがって平成 30 年度の役員館を構成する。

報告

・新規加盟館の紹介

学校法人梅村学園 中京大学古文書室、あいち航空ミュージアムが新規加盟した。

・東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会について

平成 29 年度は、東海地区博物館連絡協議会は静岡県が会長、東海三県博物館協会研究交流会は愛知県が当番。

記念講演会

総会終了後、講演会を開催した。

演題 「復興キュレーション ―ポスト文化財レスキュー期における文化創造活動」

講師 加藤幸治氏（東北学院大学 教授）

東日本大震災に関わる文化財レスキューと復興活動への取り組みを通して、文化創造のあり方を描く内容。文化財の被災状況は、たとえば津波の被害ひとつをとっても各地域でまるで異なる。各地の博物館や収蔵施設が甚大な被害を受けたことで、どこで何がどのような被害が出ているかという情報リストの把握ができず、対策が困難である。とくに個人蔵の文化財は公的な文化財レスキューの対象になりにくく、一部の団体の取り組みに頼らざるを得ない状況、との問題提起があった。

また、被災・滅失した文化財や博物館施設を、地域における記憶・存在の前提として残し、資料として活用することで、地域文化創造活動につなげる試みについてもご紹介があった。この活動は被災地だけに限らず、各地の文化創造活動において重要な視点であると感じられた。



加藤幸治氏（東北学院大学 教授）

役員、実行委員の一部が下記のとおり交替した。引き続き、会員各位のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2017（平成 29）年度 愛知県博物館協会役員

役職名	館(園)名	代表者名	備 考
理事	名古屋市博物館	館 長 伊藤 彰	会長
〃	トヨタ博物館	館 長 布垣 直昭	副会長
〃	愛知県陶磁美術館	館 長 藤林 克己	
〃	熱田神宮宝物館	館 長 大原 和生	
〃	あま市七宝焼アートヴィレッジ	館 長 服部 哲也	
〃	一宮市尾西歴史民俗資料館	館 長 庄司 哲也	
〃	大府市歴史民俗資料館	館 長 大河内 司	
〃	岡崎市美術博物館	館 長 榊原 悟	
〃	昭和美術館	館 長 柳澤 幸輝	
〃	新城市鳳来寺山自然科学博物館	館 長 加藤 貞亨	
〃	でんきの科学館	館 長 小野塚 雅夫	
〃	豊田市郷土資料館	館 長 森 泰通	
〃	豊橋市美術博物館	館 長 毛利 伊知郎	
〃	博物館明治村	館 長 中川 武	
〃	名古屋市科学館	館 長 瀬瀬 満	
監事	徳川美術館	館 長 徳川 義崇	
〃	愛知県美術館	館 長 南 雄介	

2017（平成 29）年度 愛知県博物館協会実行委員

館(園)名	委員氏名	備 考
名古屋市博物館	藤井 康隆	(会長館)
トヨタ博物館	藤井 麻希	(副会長館)
愛知県陶磁美術館	田村 哲	(会員館)2017.4.1～
熱田神宮宝物館	内田 雅之	(")
あま市七宝焼アートヴィレッジ	内山 智美	(")
一宮市尾西歴史民俗資料館	奥野 絵美	(")
大府市歴史民俗資料館	小島 美智子	(")
岡崎市美術博物館	菊地 真央	(")2017.4.1～
昭和美術館	後藤 さち子	(")
新城市設楽原歴史資料館	湯浅 大司	(")
でんきの科学館	中本 昌子	(")
豊田市郷土資料館	伊藤 圭一	(")2017.4.1～
豊橋市美術博物館	田中 竜也	(")
博物館明治村	牧野 千絵	(")2017.4.1～
名古屋市科学館	鈴木 雅夫	(")
	柏木 晴香	(")2017.4.1～
愛知県美術館	中村 史子	(")2017.4.1～
徳川美術館	薄田 大輔	(")

愛知県博物館協会事務局

事務局長	神谷 浩	名古屋市博物館副館長
事務局	田宮 由美	同館総務課長
〃	松永 一則	同館総務課庶務係長
〃	金岡 友香	同館総務課主事
〃	村木 誠	同館学芸課長
〃	山田 伸彦	同館学芸課主査
〃	武藤 真	同館学芸課主査
〃	藤井 康隆	同館学芸課学芸員
〃	鈴木 雅	同館学芸課学芸員

平成 29 年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告

東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部の平成 29 年度総会が平成 29 年 7 月 26 日(水)、静岡県立美術館において開催された。当日の総会概要は以下のとおりである。

参加者内訳：日本博物館協会 1 名、国立文化財機構 1 名、愛知県 5 館 5 名、山梨県 1 館 1 名、
神奈川県 2 館 4 名、岐阜県 2 館 2 名、静岡県 11 館 12 名 計 26 名

議題 1. 平成 29 年度理事及び監事の選任について

議題 2. 平成 28 年度事業報告及び決算報告について

議題 3. 平成 29 年度事業計画及び予算案について

議題 4. 平成 30 年度開催県について

議題 5. 提出議題 博物館の多言語化対応について

上記議題は了承された。平成 30 年度の開催県は愛知県である。また、博物館の多言語化対応については、各館が限られた予算や人材の中でも何とか努力している状況を共有することが出来た。

議題の後に、日本博物館協会 半田昌之氏により日本博物館協会の主要事業説明が行われた。「21 世紀の博物館・美術館のあるべき姿－博物館法の改正へ向けて」なる提言が先日、公開されるなど、博物館の活動が広く検討・模索される中で、個々の博物館、美術館が目指すべき姿勢についてあらためて考えさせられた。

半田氏に続いて、国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進室 岡田健氏による国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室事業説明が行われた。博物館、美術館が自然災害に対して日ごろからどう備えるべきか、東日本大震災や熊本地震に関する自らの経験談を交えながら語っていただいた。防災意識および文化財を守る博物館、美術館の役割について強く喚起される講演であった。

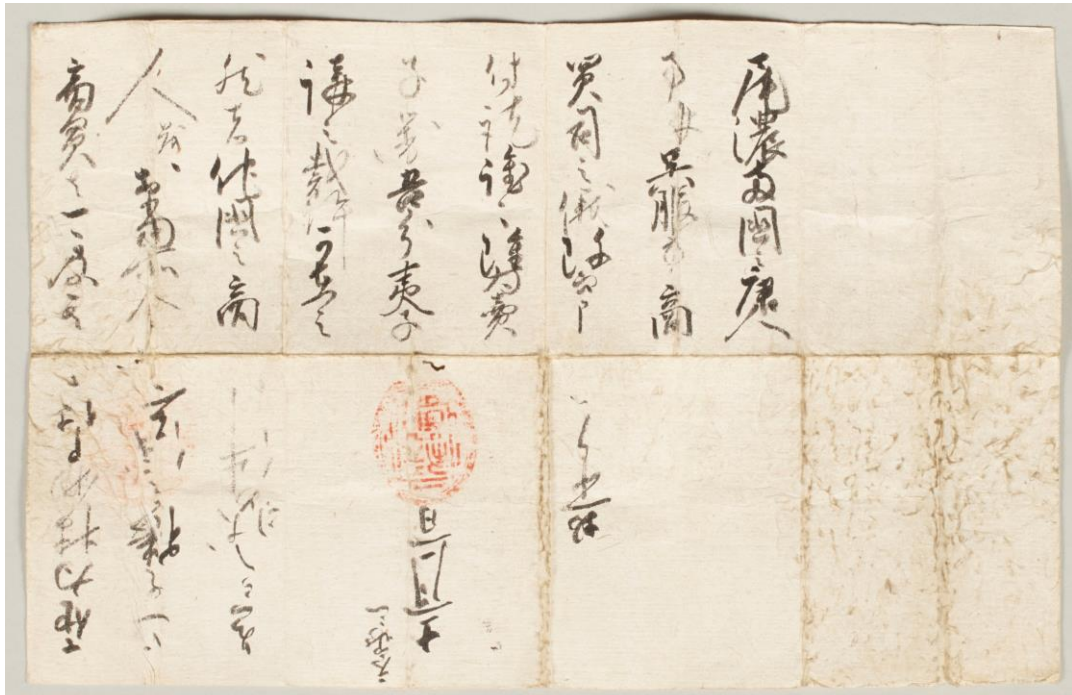


半田昌之氏（日本博物館協会）



総会後、ふじのくに地球環境史ミュージアムを見学

表紙館の御紹介



織田信長朱印状（『伊藤宗十郎家文書』）

■学校法人梅村学園 中京大学古文書室

【開室時間】

9:00～17:00 * 展示実施日のみ開室（展示により若干の開室時間の変更あり）

【閉室日】

オープンキャンパス、大学祭、学芸員課程学生展示等以外

【観覧料】

無料

【所在地】

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町 101-2 中京大学センタービル（0号館）6階
古文書室（展示実習室） Tel 052-835-7365（古文書室）

【交通機関】

名古屋市営地下鉄（鶴舞線・名城線）八事駅 5 番出口（中京大学センタービル前）

徒歩 0 分 * 古文書室用の駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。

「愛知の博物館」 No.106

発行日 平成 29 年 9 月 12 日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒467-0806

愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂通 1-27-1

名古屋市博物館内

Tel. 052-853-2655